

森林産業コミュニティ・ネットワーク (FICoN)

第 11 回ウェブ検討会

～ ポスト・ウッドショック時代の森林産業 ～

FICoN (ファイコン) は、令和元～2 年度に実施された農林水産省『「知」の集積による産学連携推進事業のうちプロデューサー活動支援事業』のテーマ「地域の木材流通の川上と川下をつなぐシステム・イノベーション」の成果を基盤として、森林・林業・木材産業のイノベーションを担う研究開発プラットフォームの連携強化やコンソーシアムの立ち上げ支援など、イノベーション創出を支援する活動を引き続き推進し、異分野との連携についても強化するため、企業、大学、公設機関など様々な立場の会員が意見交換し、協創できるネットワークづくりを目指しています。

今回の検討会では、ポスト・ウッドショック時代の森林産業をテーマに、2021 年春に生じたウッドショックが我が国の林業・木材産業に及ぼした影響、ウッドショックから得られた教訓や今後の展望について講師の皆様にお話しいただきます。

共催、後援組織の関係者をはじめ、森林産業や FICoN の活動に興味のある方、情報交換したい方はどなたでも参加できますが、ウェブ形式のため事前登録制とさせていただきます。

1. 開催日時

令和 6 年 12 月 4 日 (水曜日) 14 時 00 分～17 時 00 分

2. 開催方法

Microsoft Teams を用いたウェブ方式

3. 参集範囲

共催、後援組織の関係者、森林産業や FICoN の活動に興味のある方、情報交換したい方

4. 主催・共催等

(1) 共催

森林産業コミュニティ・ネットワーク(FICoN)

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

(2) 後援

スマート林業研究開発プラットフォーム

持続的な林業生産システム研究開発プラットフォーム

林内人力作業支援機械研究開発プラットフォーム

農林水産業のためのナノテクノロジーを用いた新素材開発・新用途開発プラットフォーム

中層・大規模木造建築推進のための研究開発プラットフォーム

木質外被研究開発プラットフォーム

木質バイオマス燃焼灰利用研究プラットフォーム

優良な林業用種苗の生産・普及に関するプラットフォーム

薬用系機能性樹木の栽培と利用のための研究開発プラットフォーム

きのこ類の生理・生態の科学的基盤とそれらを応用した技術研究開発プラットフォーム

地域創生に資する森林資源・木材の需要拡大に向けた研究開発プラットフォーム

5. 内容

検討会次第

(1) 開会挨拶と趣旨説明 (14:00-14:10)

挨拶 ファシリテーター 鮫島 正浩氏

趣旨説明 京都大学 立花 敏 氏

(2) 講演 (タイトルは仮置きのため、今後変更となる可能性があります。)

① 「ウッドショックがもたらしたものの爪痕、教訓、変化の兆しー (仮)」 (14:10-14:30)

森林総合研究所北海道支所 嶋瀬 拓也 氏

② 「最近の国産材需給の動きについて (仮)」 (14:30-14:50)

林野庁木材産業課 鈴木 清史 氏

③ 「木材輸入の将来像 (仮)」 (14:50-15:10)

伊藤忠建材株式会社 関野 博司 氏 (日本木材輸入協会会長)

④ 「ウッドショック後に国産材製材がなすべきこと (仮)」 (15:10-15:30)

瀬戸製材株式会社 瀬戸 亨一郎 氏 (国産材製材協会副会長)

⑤ 「地域工務店が経験したウッドショックとは? (仮)」 (15:30-15:50)

岡庭建設株式会社 池田 浩和 氏 (JBN・全国工務店協会副会長)

<休憩>

(3) 総合討論 (15:55-16:55)

司会 立花 敏 氏

パネリスト 上記講師の皆様

(4) 閉会挨拶 (16:55-17:00)

副ファシリテーター 酒井 秀夫氏

6. 申込方法

(1) 申込み締切り：令和6年11月27日(水曜日)

(2) 申込み先：jimu-ficon@ml.affrc.go.jp (右記QRコード)

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 FICoN 事務局

(3) 必須記入事項：

① 参加者氏名

② 所属機関名

③ 連絡先 (メールアドレス・電話番号)

④ 会員種別 (A 組織会員、B 個人会員、C 今回加入する、D 未加入)



(申込み先)

(注) 参加者は最大で 250 名とさせていただきます。定員を超える参加申込みがあった場合、FICoN 会員を優先します。